

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道486号 福山拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県福山市駅家町近田 至：広島県福山市新市町戸手				延長	1.2 km
事業概要	一般国道486号は、岡山県総社市から広島県東広島市に至る延長10.8kmの幹線道路である。福山拡幅は、福山市北部の交通混雑を緩和し、重要港湾福山港へのアクセス向上を目的とした、延長1.2kmの4車線道路である。					
H6年度事業化	H2年度都市計画決定		H7年度用地着手		H11年度工事着手	
全体事業費	約60億円		事業進捗率	7.4%	供用済延長	0.2 km
計画交通量	20,900台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 10.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 8/58億円 (事業費：7/57億円) (維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 85/101億円 (走行時間短縮便益：72/87億円) (走行費用減少便益：1/2億円) (交通事故減少便益：12/12億円)	基準年 平成15年		
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.0（交通量+10%）      B/C=1.6（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.8（交通量+10%）      B/C=1.8（交通量-10%）					
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（新幹線福山駅へのアクセス向上が見込まれる） ・物流交流化の支援（国際コンテナ航路の発着港である福山港へのアクセス向上が見込まれる） 他7項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	福山拡幅は、大規模商業施設や住宅地が密集する状況下において、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	新たな商業施設等が立地され、沿道の開発状況が進んでいることから、近年交通混雑が慢性化した状況となっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得は概成し現在までに0.2kmを部分供用しているが、早期に供用できるよう事業の展開を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部の用地取得が難航してきたが、今後は順次着工し残る区間の早期供用を図る。					
施設の構造や工法の変更等	拡幅事業であるため、起終点位置は改良済み区間で固定されるため、特に変更はない。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。